

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容

学校教育目標「学ぶよろこびのある入野小教育の創造～志を高くもち未来に向かってかがやく入野っ子の育成～」を基に、校区内の素晴らしい人材や遺産そして文化等、ふるさと入野地域に支えられながら、ESDの視点に立った教育活動を進めている。バックキャスティングの視点で、将来の社会や環境はどのようなようであり、自分はどのような人にならなくてはいけないか、そして、今からどのようにしていくべきなのかについて、「キャリア」「自然環境・エネルギー」「多文化（地域理解・国際理解）」の分野に焦点をあて、「気付き、考え、行動できる」児童を育成していこうとしている。

加えて、課題発見・解決学習を通して児童の主体的な学びが深まる指導を進めていくことが求められており、教育活動を、「教材のつながり」「人のつながり」「能力・態度のつながり」等、ESDの視点から総合的に捉え直したESDカレンダーをもとに、探究的な学習過程となる単元づくりや授業づくりを行っている。

さらに、これらのことを、カリキュラムマネジメントの考え方に基づいて実践している。学習指導要領等を受け、子供たちの姿や地域の実情を踏まえた上で、目指す子供像を設定し、本校におけるESDの目標を設定している。そして、その実現のために、育てようとする資質・能力を設定し、年間指導計画となるESDカレンダーを教科横断の視点を大切にしながら作成し、実践している。今後、学習活動をさらに進化、発展させるために、計画に基づいてカリキュラムの評価・改善に取り組んでいる。

また、これらの実施は、ふるさと入野地域により支えられている。地域の自治組織「篁の郷」をはじめ、地域の「ひと・もの・こと」と連携を図りながら活動を進めている。各学年においては、次表の通りである。

〈各学年における連携協力者〉

学年	主な単元名	連携協力者
1	みんな えがお だいすき にゅうの	栄養士，河内給食センター，広島市森林公園こんちゅう館
2	とびだせ はっけん にゅうのっこ	地域の講師【野菜作り】，地域センター
3	せかいにつたえよう 入野のじまん	自治組織「篁の郷」，本校卒業生
4	くらしと環境 自然を守れ入野っ子	自治組織「篁の郷」，東広島市役所【廃棄物対策課，下水道施設課，給水課，環境対策課】，中国電力
5	食と環境 すすめよう地産地消	東広島市農林水産課，栄養士，地域の講師【米作り】，ポブラ入野店
6	守り続ける 入野の伝統	自治組織「篁の郷」，篁太鼓保存会，地域の講師【和太鼓，茶道】

平成27年9月18日には、本校並びに本市教育委員会主催の教育研究会を開催し、授業公開を行うとともに、国立教育政策所教育課程研究センター総括研究官五島政一氏、岡山理科大学理学部教授 岡本弥彦氏を招いて、シンポジウムを行った。また、広大連携フォーラムESD分科会（10月3日 主催：東広島市教育委員会 広島大学）、平成27年度ESD研修会（11月20日 主催：広島県ユネスコスクール連絡協議会）、ESD学びあいフォーラム in 山口（2月6日 主催：環境省中国四国地方環境事務所）において、本校の実践報告を行い、出席者から貴重なご意見、ご示唆をいただいた。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）